

# 2020年12月期第2四半期 決算説明資料

2020年8月20日

応用地質株式会社

代表取締役社長 成田 賢

1. 2020年12月期第2四半期決算概要
2. 新型コロナウイルスの影響と業績等の見通し
  - (1) 新型コロナウイルスの影響
  - (2) 2020年12月期連結業績予想の修正
  - (3) 中期経営計画の進捗状況
  - (4) 配当政策/配当予想
3. ESGへの取組み
4. 参考資料
  - (1) グループ事業の概要
  - (2) OYOフェアのご案内

**OYO**

2020年12月期  
第2四半期決算発表

# 1. 2020年12月期第2四半期 決算概要

# 1-1. 2020年12月期第2四半期決算概要

(百万円)	2019年2Q	2020年2Q			2020年度通期	
		2Q実績	前年比増減	前年比	期初予想	進捗率
受注高 (※)	29,947	30,916	969	103.2%	56,000	55.2%
売上高	23,962	24,403	441	101.8%	55,000	44.4%
営業利益	1,093	1,693	600	154.9%	3,000	56.4%
経常利益	1,303	1,913	610	146.9%	3,400	56.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	804	1,128	324	140.2%	2,200	51.3%

(※) 2019年12月期の受注高には、同年から連結対象に加わったシンガポール企業の2018年12月期末の受注残高を含みません

- 前年同期比で売上は101.8%、営業利益は154.9%と増収増益
- 経常利益は前年比146.9%、当期純利益は同140.2%
- 補正予算成立を背景に、国土強靱化関連を含めた公共事業関連業務が堅調に推移したことが主要因
- 期初発表の通期予想比の進捗率は、売上高を除き50%を超過
- 第2四半期に入り、新型コロナウイルス感染症の影響による業務の一部中断や海外グループ会社の業績不振、等のマイナス面も発生

# 1-2. セグメント別業績概要(1)

(百万円)	FY2019 2Q		FY2020 2Q		前年比 (%)		2020年12月期通期 上段:期初予想、下段:進捗率	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
インフラ・メンテナンス	8,843	605	9,455	835	106.9%	138.0%	20,980 45.1%	950 87.9%
防災・減災	6,324	317	6,613	596	104.6%	188.1%	14,160 46.7%	880 67.7%
環境	4,487	445	4,602	537	102.6%	120.5%	9,570 48.1%	960 55.9%
資源・エネルギー	4,306	△288	3,731	△310	86.6%	—	10,290 36.3%	210 —

- 「インフラ・メンテナンス」「防災・減災」「環境」は、売上、営業利益ともに前年比で伸長
- 高採算案件の増加、コロナ禍に伴う情報技術の多用による旅費・交通費等の経費減少が営業利益増加に寄与
- 「資源・エネルギー」は海外石油関連市場の大幅縮減により、売上は前年比マイナス、営業損益は赤字拡大
- 通期予想対比では、売上は50%を割り込むものの、営業利益は50%を大きく超過（除く「資源・エネルギー」）

# 1-2. セグメント別業績概要(2)

(百万円)

## インフラ・メンテナンス

FY2019 2Q			FY2020 2Q		
受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
10,304	8,843	605	11,608	9,455	835

- ・ 国土強靱化計画や補正予算成立を背景に、マーケット需要は堅調。受注高116億8百万円、売上高94億55百万円と前年を上回る実績。
- ・ 営業利益は、835百万円と前年比38%増。

(百万円)

## 防災・減災

FY2019 2Q			FY2020 2Q		
受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
8,257	6,324	317	7,811	6,613	596

- ・ 受注高は78億11百万円と前年比で減少（昨年度の大口径案件の反動、採算を重視した選別受注へのシフト等が要因）
- ・ 売上高は、自然災害の復旧対応業務の進捗もあり、66億13百万円と前年比増加
- ・ 営業利益は、高採算案件増加やコロナ禍に伴う情報技術の多用による旅費・交通費等の経費減少もあり、596百万円と増加

# 1-2. セグメント別業績概要(3)

(百万円)

## 環境

FY2019 2Q			FY2020 2Q		
受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
5,940	4,487	445	6,379	4,602	537

- ・ 受注高は、自然由来重金属対策に関する大口案件もあり、63億79百万円と前年比で増加。
- ・ 売上高、営業利益も同様に前年比増。
- ・ 災害廃棄物処理関連業務は好調であるも、コロナ禍により、風力発電関連の環境アセスメントが中止となる案件も発生するなど、プラス/マイナスの両面が発生

(百万円)

## 資源・エネルギー

FY2019 2Q			FY2020 2Q		
受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
5,445	4,306	△288	5,117	3,731	△310

- ・ 受注高は、コロナ禍と原油/資源価格下落を背景に海外のグループ会社が低迷
- ・ 売上高は、国内では洋上風力発電関連業務の一部中断、海外のグループ会社の売上減少もあり37億31百万円と前年同期比でマイナス
- ・ 損益は、3億10百万円の営業損失

**OYO**

2020年12月期  
第2四半期決算発表

## 2. 新型コロナウイルスの影響と 業績等の見通し

OYO

2020年12月期  
第2四半期決算発表

2-(1)  
新型コロナウイルスの影響

## 2-(1) 新型コロナウイルスの影響（全体感）

### 全体感

- ・ 社員の働き方や営業・製造面等で大小様々な影響が発生
- ・ 現在も影響は継続中

### （基本的な対応方針）

- ① お客様と従業員の健康と安全の最優先
- ② 「感染しない」「感染させない」
- ③ 事業活動継続に向けた取組みへの注力
  - ・ 昨年度までの各種施策の推進により、比較的スムーズに対応が可能に
    - （例）在宅勤務制度の整備 ⇒ 全社的な在宅勤務へのスムーズな移行
    - ICTの推進（OA機器整備等）⇒ ノートPC、通信環境の整備、web会議システム
    - 事業部制の推進 ⇒ 「売り物」を意識した営業活動の継続
  - ・ コロナ禍における災害対応の整備推進
    - ⇒ 令和2年7月豪雨災害において迅速な対応を実現

## 2-(1) 新型コロナウイルスの影響（具体的事例）

### 具体的な影響事例

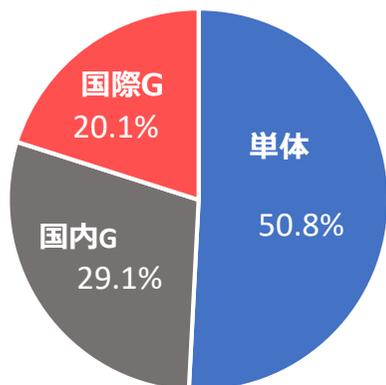
※国毎の新型コロナウイルス対策に対応した結果も含む

項目	主な影響事例
単体	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部業務の中断や、県間の移動自粛要請</li> <li>現地における住民説明会等の中止</li> </ul>
国内G会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外渡航制限や入国規制による業務中断</li> <li>風力発電関連の環境アセスメント中止</li> </ul>
国際G会社 *本社が海外にある 連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地政府等によるロックダウン（米国、英国等）や越境通勤の制限（シンガポール子会社）</li> <li>航空貨物運賃高騰、販売先企業のLC開設中断に伴う出荷遅延</li> <li>資源価格低迷に伴う売上減少</li> </ul>

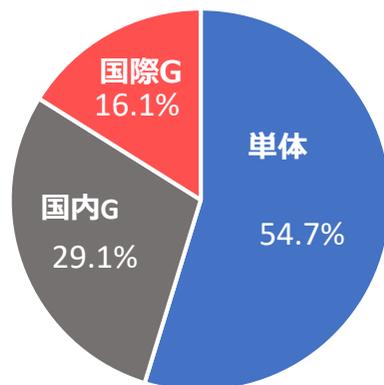
### 連結決算への影響：国際G会社が大きく影響を受けた

グループ全体売上に対する比率（※）

2019年2Q



2020年2Q



20年度年間売上予算（期初）に対する2Qまでの進捗率（※）

単体	45.5%
国内G会社	48.4%
国際G会社	35.3%

※連結調整実施前の数字に基づき算出

**OYO**

2020年12月期  
第2四半期決算発表

2-(2)  
2020年12月期連結業績予想の修正

## 2-(2) 2020年12月期連結業績予想の修正

(百万円)	前回予想	今回予想	増減	増減率 (%)	(参考) 19年12月期実績
売上高	55,000	52,000	△3,000	△5.5%	53,883
営業利益	3,000	2,300	△700	△23.3%	2,581
経常利益	3,400	2,800	△600	△17.6%	3,058
親会社株主に属する 当期純利益	2,200	1,700	△500	△22.7%	2,176

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が、海外のグループ会社を中心に発生。
- ・同感染症の収束には2020年末頃まで時間を要するとの仮定に基づき、連結業績予想を下方修正。

### (連結業績予想修正の背景・理由)

- <全体>
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響は世界各地に拡大、世界経済に甚大な影響
  - ・同感染症の収束の見通し不透明（再拡大の懸念も）
- <国内>
  - ・公共部門は、19年度補正予算執行や緊急事態宣言解除後、順次、需要回復/業務再開  
今後、業務量増加に伴う人材/機材の不足懸念あり
  - ・民間部門は、景気減速に伴う今後の需要動向に不透明感
- <国際>
  - ・景気減速や資源価格低迷に伴い、資源関連業務を行う子会社の業績が悪化
  - ・外出/移動禁止、越境通勤制限等の継続により、業務遂行への影響継続の可能性

## 2-(2) マーケット環境についての認識

### ・マーケット環境についての中長期的見通し

<p>インフラ・メンテナンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会インフラの老朽化や国土強靱化計画を背景に、今後も需要増の見込み</li> <li>・インフラ分野におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進が加速（国交省もインフラ分野のDX推進本部を設置）</li> <li>・二次元から三次元への動きが本格化</li> </ul>
<p>防災・減災</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害の増加を踏まえ、国・自治体や企業のリスク対応の重要性が増加 ⇒センサーとクラウドを活用した防災情報の収集・配信型ビジネスモデルへ</li> <li>・海外における大規模森林火災の防止/監視に対する需要増加 ⇒当社グループが培ってきた地震モニタリングネットワークを活用し、森林火災情報の収集・分析を実施</li> </ul>
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動につながる環境破壊や環境汚染の防止に対する意識の高まり</li> <li>・「リサイクル」だけでなく「再生エネルギー」に対する需要が増加</li> <li>・「環境保全」から「環境再生」への動きが活発化 (例) 海洋プラスチックごみ問題に関する国内外の関心の高まり</li> </ul>
<p>資源・エネルギー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油等を中心とした従来型の資源市場の低迷は長期化</li> <li>・再生可能エネルギー市場は今後も活性化の可能性</li> </ul>

**OYO**

2020年12月期  
第2四半期決算発表

## 2-(3) 中期経営計画の進捗状況

## 2-(3) 中期経営計画の進捗状況

### 新型コロナウイルスの影響と対応

- ・ コロナ禍に伴い活動全般がスローになり、進捗に遅れが出るケースも  
(例：社内外関係者との面談延期、web会議移行に伴う対応変更、等)
- ・ そうした状況でも、戦略/施策の着実な遂行への取組みを実施

### 中計“Jump 18”の基本方針、基本戦略

#### 基本方針

社会課題を解決するソリューションサービスを提供することで、持続的成長を目指す

#### 4つの基本戦略

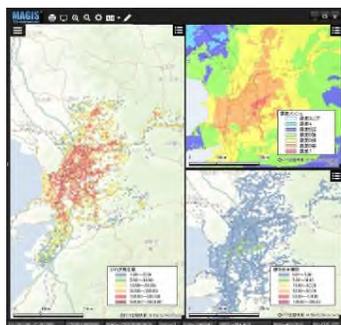
1. 成長戦略 : 4つの事業分野で“OYOブランド”を確立
2. 技術戦略 : 地盤3次元化技術で新たな価値を創造し、市場を開拓
3. グローバル戦略 : 事業展開をM&Aで進め、ソリューションシステムの海外展開
4. ガバナンス戦略 : 社員QOL向上を含む、企業ガバナンスの向上

## 2-(3) 中期経営計画の進捗状況

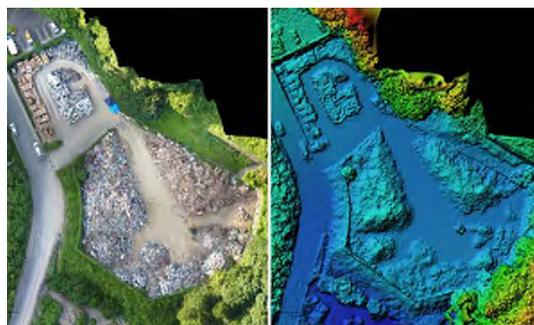
### 基本戦略1：成長戦略

#### ・災害廃棄物処理関連サービス（「環境」セグメント）

- 東日本大震災以降、官公庁、全国の自治体向けにサービスを提供
- 激甚化する自然災害を背景に、新しい市場として確立



災害廃棄物シミュレーションシステム



ICT、ドローンを用いて迅速に災害廃棄物量を算定

災害廃棄物関連業務実績



#### ・洋上風力発電支援サービス（「資源・エネルギー」セグメント）

- 洋上風力発電設備建設に伴う海底地盤調査
- 地震計を用いた新しい海底調査技術を開発
- 調査のための専用海上足場（鋼製檣）を増強
- 市場拡大に伴い事業規模も急成長  
（当社Gのシェア約5割（推定）、年商約30億円）



海底調査に用いる鋼製檣



地震計を活用した海底調査

## 2-(3) 中期経営計画の進捗状況

### 基本戦略2：技術戦略

#### ・地下埋設物情報提供サービス

- 新型レーダー探査車を導入し実証実験を継続
- 組織面でも技術検証専担者を設置し計画的に遂行



新型レーダー探査車両

#### ・新しいハザードマッピングセンサ開発

- サンプル、ユアサ商事との共同開発による冠水センサー付きポラード実証実験開始（福知山市、浦安市）
- クラウドを活用した管理



浦安市内に設置された冠水センサー付きポラード

#### ・斜面リスク監視システム

- 簡易傾斜計「クリノポール」によるクラウド斜面監視システム
- 斜面の変状をいち早くキャッチし、次の動作を促すシステム
- 豪雨災害対策として需要が増加
- クラウド環境におけるセンサーの統合管理
- センサーを活かした新たなブランド創りへ



## 2-(3) 中期経営計画の進捗状況

### 基本戦略3：グローバル戦略

- ・ 海外G会社の着実な成長  
シンガポール Fong Consult社  
現地の鉄道関連施工管理の大型案件（約14億円相当、工期6年）を受注
- ・ M&Aについては、継続検討中



### 基本戦略4：ガバナンス戦略

- ・ 社員のQOL向上への継続的な取り組み
  - －コロナ禍における在宅勤務へのスムーズな移行実現
  - －“with コロナ”における新しい働き方（非接触ビジネス対応）について営業・技術で実践中  
web会議システムによるアポイント営業、ウェアラブルカメラによる現場管理

- ・ 女性活躍推進に向けた方針発表（2020年3月）

- （例）積極的な女性採用の継続  
ジェンダーの区別のない評価・登用の推進  
男女比率と比例した管理職割合の実現  
女性社外役員の登用の検討

当社採用実績における男女比の状況

年度	合格率 (男性)	合格率 (女性)	受験者の 女性割合
2018卒	27.0%	22.0%	33.6%
2019卒	26.3%	26.9%	26.8%
2020卒	33.5%	34.4%	26.1%
過去3年平均	28.9%	27.8%	28.9%

\* 合格率：エントリー者数からの内定者割合

- ・ 社員エンゲージメント向上への取り組み開始

- －企業の更なる成長と社員にとって働きがいのある職場形成を目指し  
エンゲージメント調査を開始
- －調査結果を踏まえ、エンゲージメント向上に向けた具体的施策を継続的に実施予定

## 2-(3) (参考)各戦略を支えた情報技術への取組み

### 中期経営計画の4つの基本戦略推進を支えた情報技術への取組み

#### ●DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の基本的考え



#### ●具体的な取組み事例

<p>新しい 製品・サービス</p>	<p>地盤情報ICTプラットフォームに向けた取組み 3次元物理探査技術の開発、3次元探査検定センター、地下埋設物情報提供サービス、等</p> <p>AIやクラウドの活用 路面下空洞探査サービス、インフラ構造物点検システム、ハザードマッピングセンサ、自治体向け災害対策情報サービス、等</p>
<p>業務プロセスの 効率化</p>	<p>社員全員へのノートPC/スマホ配布、ウェアラブルカメラの導入、クラウド活用による業務効率化（ペーパーレス経費精算システム、社内サーバー）、自動車安全管理システム導入、等</p>

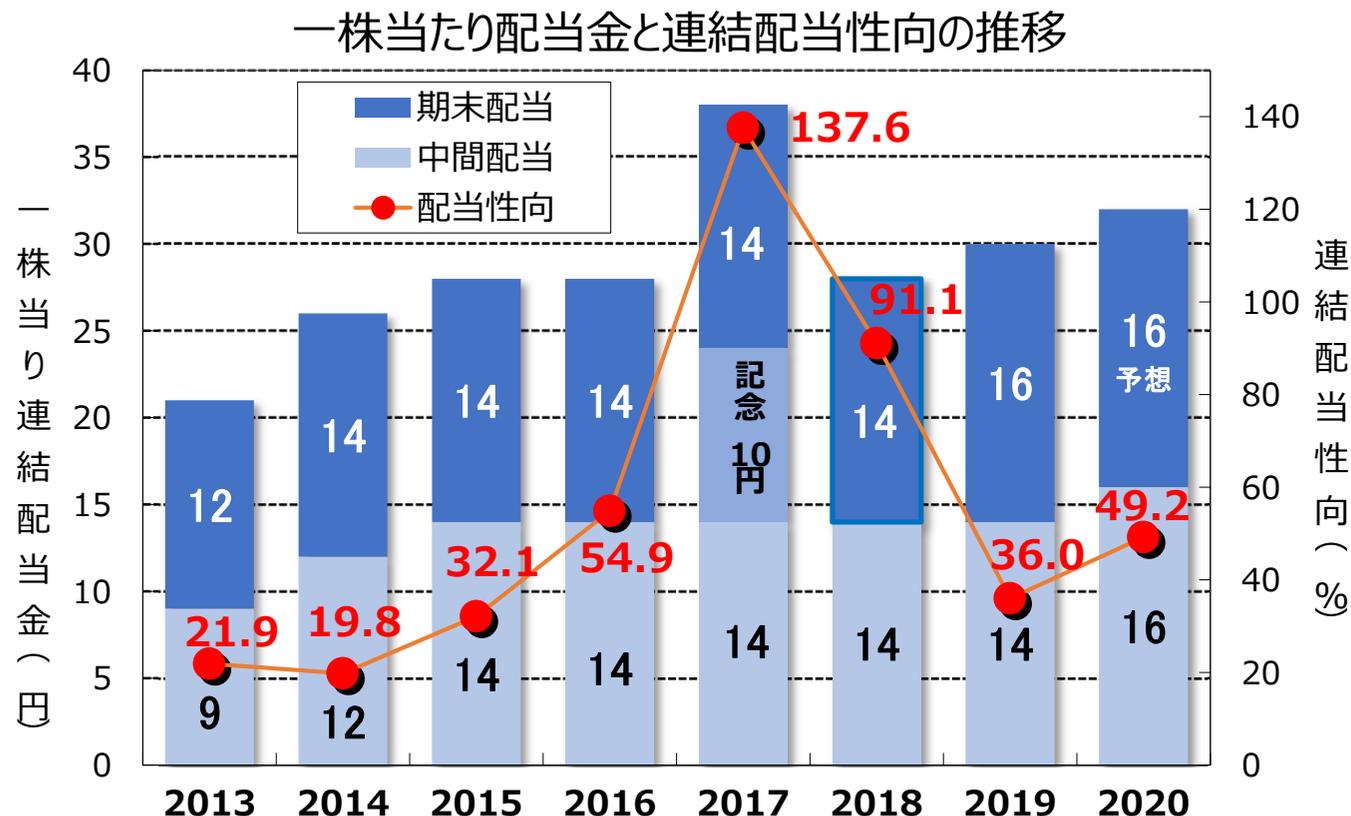
**OYO**

2020年12月期  
第2四半期決算発表

## 2-(4) 配当政策/配当予想

## 2-(4) 配当政策/配当予想

中間配当：16円  
 期末配当予想：16円（当初予想から変更なし）



### 【配当方針】

連結配当性向  
**30~50%**  
 を目処とした  
 安定的配当

### 【2020年度 配当予想】 (今回据置) (一株当たり)

中間配当 16.0円  
 期末配当 16.0円  
 年間配当 32.0円

### 【自社株買いについての基本方針】

自己株式の保有状況、財務状況、市場環境等を踏まえて、機動的な自己株式の取得および消却を検討

**OYO**

2020年12月期  
第2四半期決算発表

## 3. ESGへの取組み

# 3. ESGへの取組み

## Environment (環境)

…事業活動を通じた環境負荷の低減への取組み

- 生物多様性の維持への取組み
  - 最先端の環境保全・修復技術による生物多様性の課題に取組み (応用生体工学研究所、エヌエス環境)  
(具体例) WET試験法、環境DNA
  
- 災害廃棄物処理計画/早期処理支援サービス (既述)
  - 災害廃棄物の単純処理だけでなく、リサイクルの視点も加味した運搬・処理計画
  - 自治体の災害廃棄物処理担当者の人材教育も支援
  
- 公害対応への取組み
  - アスベスト対策  
分析から除去工事までワンストップでサービス提供
  
- 地球温暖化対策
  - 風力発電などの再生可能エネルギープロジェクトに関する海底地盤調査、環境アセスメント、センサー (海洋磁力計) の開発
  - 企業に対するCO2削減ポテンシャル診断の提供 (エヌエス環境)



WET試験法



環境DNA分析



災害廃棄物仮置き場



アスベスト対策工事



海底地盤調査のための鋼製籠



CO2削減ポテンシャル診断

# 3. ESGへの取り組み

## Social (社会)

…事業活動を通じた地域社会の持続可能な発展への取り組み

### ● 地域の学校教育への協力活動

地域貢献活動の一環として、近隣の学校の児童・生徒への環境や防災に関する特別授業を随時実施  
また、中高生による企業訪問も随時受け入れ中。



### ● 地域の防災訓練への協力活動

地域の防災・減災活動や防災教育に役立てていただくため、毎年「防災・減災のススメ」を発行。ウェブサイトでも無償で公開。



### ● 非営利組織GHIへの支援活動

世界の地域社会を地震や地すべり、豪雨等の自然災害による苦しみから解放することを目的に活動するNPOであるジオハザード・インターナショナル (GHI) への支援活動を1991年の設立当初から継続。



### ● 次世代の技術開発に向けた大学との協働

名古屋大学 (減災連携研究センター)、北海道大学 (バイオマスコミュニティプランニング分野)、東北大学 (災害科学国際研究所) において寄付講座を設置。次世代の技術開発に向けた大学との連携を推進。



# 3. ESGへの取組み

## Social (社会) (続き)

…ダイバーシティや従業員の安全確保への取組み

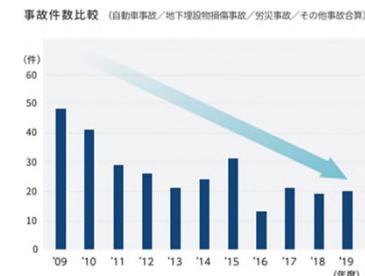
### ●女性活躍推進への取組み

事業の持続的発展に向けてジェンダーの多様化に積極的に取り組む方針を発表（既述）  
働きやすい職場づくり、ワークライフバランス推進施策として「えるぼし」「プラチナくるみん」認定取得



### ●安全・衛生への取組み

労働環境の改善を目的とした衛生委員会を各事業所で毎月実施。  
自動車安全管理システム「TransLog」を用いた、運転技術の監視と指導も実施し、事故発生件数の減少を実現。



## Governance (ガバナンス)

…コーポレートガバナンスやリスクマネジメントへの取組み

### ●グループ企業行動規範・基準の改訂

グループ共通の企業行動規範・企業行動基準を改訂。グループの経営理念実現のために必要な日々の社員の具体的な行動について記載。小冊子作製の上で、国内外グループ全社員に配布。



### ●感染症予防への取組み

コロナ禍での従業員の安全・健康確保を図りつつ、業務継続と両立させる図る観点から、web会議を活用したオンライン商談やウェアラブルカメラによる遠隔臨場（発注者による現場業務の確認作業）に取組み。



**OYO**

2020年12月期  
第2四半期決算発表

## 4. 参考資料

# 4-(1) グループ事業の概要

セグメント	事業部	国内グループ企業	海外グループ企業
インフラ・メンテナンス	メンテナンス事業部 社会インフラ事業部	東北ボーリング、KCS、 宏栄コンサルタント、 応用計測サービス、他	Fong Consult Pte. Ltd. FC Inspection Pte. Ltd. Geophysical Survey Systems, Inc. OYO Corporation, Pacific
防災・減災	流域・砂防事業部 地震防災事業部	応用地震計測、 応用アール・エム・エス、 OYOインターナショナル	Kinematics, Inc.
環境	地球環境事業部	エヌエス環境	
資源・エネルギー	エネルギー事業部		Geometrics, Inc. Robertson Geologging Ltd. NCS-subsea, Inc. IRIS Instruments SAS

情報システム事業部  
計測システム事業部

## 4-(2) OYOフェアのご案内

当社の商品・サービスの内容について、展示とセミナーで具体的にご紹介します。  
今年は、バーチャル空間での開催となります。

当社の事業内容をより詳細にご理解いただくためにも、機関投資家やアナリストの  
皆さまも是非一度ご覧ください。

### <OYOフェアの詳細>

開催日時：

10月14日（水）～21日（水）

参加方法：

事前予約制。ご参加いただく際は、以下のページより  
事前登録をお願いします。（9月中旬より受付開始）  
※会期中は事前登録後すぐにご参加いただくことが  
可能です。

[OYOフェア2020] 特設WEBサイト

[www.oyo.co.jp/exhibition-oyo-fair-2020/](http://www.oyo.co.jp/exhibition-oyo-fair-2020/)



ご清聴ありがとうございました  
Thank you for your attention